別紙様式

令和２年度「尾道版『学びの変革』推進事業」に係る
研究推進実施計画書

尾道市立向島中学校　校長　石川　敬一

１　学校経営構想　（別紙）

学校経営目標

地域に信頼され，地域に誇れる学校をつくる
(1) 教職員の総力を挙げた組織的・機能的な体制のもとに実践する。
(2) 計画的・系統的な指導を行い,「知・徳・体」のバランスのとれた育成を図り，全生徒が「向島中で学びたい」といえる学校をつくる。
(3) これまで培ってきた向島中教育を継続的・発展的に推進するために PDCA サイクルを積極的・意図的に導入する。（カリキュラム・マネジメント）

スクールミッション

カリキュラム・マネジメントによる厚みのある教育の創造

目指す児童生徒像

「凜とした姿」⇒　自律した姿
・自分らしい生き方を追求している生徒（自己探求）
・自他を大切にし，協力できる生徒（社会参画力）
・言葉を大切にし，自分の考えを表現できる生徒（表現力）

２　教育研究構想　（別紙）

３　研究の概要

（１）研究主題・副題

生徒が主体的に学びに向かう授業づくり
～必然性のある課題設定と振り返りの充実を通して～

（２）研究主題の設定理由

社会背景から，グローバル化する社会を生き抜くための資質，能力を育てることが求められている。また，学力調査から，活用問題に課題があること，生徒質問紙から，学びに向かう力に課題があることが分かった。そこで，中学校で育成を目指す３つの資質を意識した振り返り活動を充実することで生徒が課題に対してどのように取り組んだかなど,学習過程や行動を客観的に振り返り，主体的に学びに向かう力が養われるだろう。

（３）研究のねらい

生徒が主体的に学びに向かう姿勢の育成

（４）研究仮説

生徒が自ら考えたくなるような必然性のある課題に，学習した知識・技能を活用して取り組み，思考の過程や行動を客観的に把握する振り返り活動を充実することで，主体的に学びに向かうであろう。

（５）研究内容（研究の方向）

①教科等横断的な視点をもたせる他教科との関連を意識した授業改善
②総合的な学習の時間の単元開発と実践
③小中の系統性をもたせた表現力の育成

（６）検証の指標

①―１月実施の標準学力調査の活用問題での平均通過率
―生徒アンケートで「普段の生活や学習の中で，これまでに学習した内容や学習の進め方を使っています」に肯定的に答える生徒の割合
②―アンケートで「『総合的な学習の時間』では，各教科で学習した内容を活用して，授業に取り組みます」に肯定的に答える生徒の割合
③―アンケートで「授業では，自分の考えを積極的に伝えています」「授業では，自分の考えとその理由を明らかにして，相手に分かりやすく伝わるように発表を工夫しています」に肯定的に答える生徒の割合

（７）到達目標

①－全国平均＋５％以上
－８０％以上
②－７０％以上
③　７０％以上

4　指導・助言者

氏　　名	所属・職名等	備　　考
調整中	尾道市教育委員会	

5　研究計画

月　　日	研　究　内　容	講　　師
６月　１日	校内授業研究会・研究協議	尾道市教委　指導主事
７月　８日	校内授業研究会・研究協議	尾道市教委　指導主事
８月　４日	校内研修（学習指導案検討①）	
８月　６日	校内研修（生徒指導・教育相談）	
８月　７日	校内研修（学習指導案検討②）	
８月２８日	校内研修（公開研究会に向けて）	
９月２５日	尾道市立向島中学校公開研究会	尾道市教委　指導主事
１０月３１日	道徳公開授業	
１月２６日	校内授業研究会・研究協議	尾道市教委　指導主事
２月	校内授業研究会・研究協議	

別紙様式１

令和２年度「尾道版『学びの変革』推進事業」に係る
研究推進予算計画書

尾道市立向島中学校　校長　石川　　敬一　　印

費目		金額	明細
節	細節		
報償費	講師報償費	0 円	
	報償費小計	0 円	
旅　費	講師旅費	0 円	
	視察旅費	100,000 円	視察研修 福井県福井市安居中学校 50,000 円×2 名
	旅費小計	100,000 円	
合　計		100,000 円	

※報償費、旅費合わせて１０万円以下の予算内で計上してください。

別紙様式２

校区内で調整し、中学校から提出してください。

令和２年度「尾道版『学びの変革』推進事業」に係る
研究推進予算計画書

尾道市立○○○学校区　校長　○○○○　印

費目		金額	明細
節	細節		
報償費	講師報償費	① ２２，８００円 ② ０円	①☆☆大学○○　○○教授（６月） ５，７００円×４時間 ②□□大学△△　△△准教授（１１月） （※報償費は○○小学校から支出）
	報償費小計	２２，８００円	
旅　費	講師旅費	① ３４，９２０円 ② １，９４０円	①☆☆大学○○　○○教授（６月） 東京～尾道 ②□□大学△△　△△准教授（１１月） ○○～尾道
	旅費小計	３６，８６０円	
合　計		５９，６６０円	

学校配分予算と合わせて支出する場合は、校区のどの学校から支出するのかを明記する。

合計は必ず６万円以内になるように予算を計画する。

※報償費、旅費合わせて６万円以内の予算内で計上してください。
※校区枠には視察旅費はありません。

○予算計画書は、Ａ４版１枚にまとめ、別紙とすること。
○別紙様式２については、中学校から提出すること。
○必要とする経費について
- 予算計画書費目欄は費目（報償費・旅費）に準じて記入し、それに対応する金額及び明細をできるだけ詳しく記入すること。
- 報償費の額については、原則として尾道市教育委員会の基準（県の基準をもとに作成）により積算し、支給する。
- 旅費については、市の旅費規程によるものとすること。